



場を果たしました。また本年8月に開催された第57回島根県消防操法大会でもポンプ車の部、小型ポンプの部とも3位となりました。島根県消防操法大会では、3位までに入賞すると纏（まとい）の授与がありますが、今年は益田市に纏（まとい）を2本も持ち帰ることができ、消防団員の士気も多に盛り上がっています。



女性団員によるAED指導

### 3 消防団員の個別健康指導について

#### (1) これまでの取組状況について

益田市消防団では、消防団員等公務災害補償等共済基金（以下「消防基金」と略します。）の全面的支援を受けて、1年間の試行期間を経て、平成18年度からモデル団体の指定を受け、全国6団体のうちのひとつとして、3年間消防団員の個別健康指導の事業を実施いたしました。

平成21年度から平成25年度の今日までは、益田市単独事業として継続実施しており、試行期間を含めると実に8年間実施したことになります。

消防団員個別健康指導導入の目的は、導入当時の消防基金の統計資料によれば、消防団員の公務災害は、毎年1,300件余り発生しており、とりわけ脳血管疾患、心臓疾患による殉職者数は殉職者数全体の4割を超えており、これら殉職者のほとんどが高血圧や高脂血症、肥満などの健康上の問題を持っていたことです。

一方、消防団員を任用する市町村長には、

消防団活動を行うことにより、このような症状を発症させたり、悪化させないように消防団員の健康管理に対する配慮義務があり、そのことは決して、なおざりにはできないことから、この事業を実施いたしました。

#### (2) 健康指導スタッフについて

健康指導スタッフについては、医師1名、保健師1名、栄養士1名、看護師2名、その他支援スタッフ5名程度です。医師については、当初から消防職員や消防団員のことをよくご存じの益田広域消防本部の産業医にお願いをしております。保健師、栄養士については、益田市保健センターの支援により益田市の職員のかたの協力を得ています。看護師については、益田市の女性消防団員の中から看護師資格を有する者2名が担当し、その他支援スタッフは、益田市女性消防団員が担当しています。

#### (3) 個別健康指導事業の概要について

まず、毎年、春に全団員から健康診断自己申告書、問診表の提出を受けます。併せて健康診断書があれば、その写しの提出もお願いいたします。提出率は、92パーセントくらいで推移しています。消防団員の中には、職場で健康診断を受けているから提出はいいだろうという意見もありましたが、消防団員個別健康指導事業の目的をしっかりと説明して協力をいただいております。自己申告書等は、個人の健康に関する情報ですので、専用の封筒を用意し、その保管方法にも情報が漏洩しないよう配慮しています。

次に提出された健康診断自己申告書等の資料により健康障害のある団員を抽出していきます。抽出する条件はBMIの数値や血圧の高い人、入団者、医師の治療を受けているかどうかなどの判断によります。この時点で120名程度までに絞り込みます。

抽出された消防団員を対象に各地域を回り

個別健康指導会を年間5回開催しています。個別健康指導会では、血圧、体重、体脂肪、基礎代謝量、腹囲等を計測し、看護師や栄養士による生活指導を実施します。個別健康指導会に出席する団員は、毎年、対象者の5割程度にとどまっています。参加される団員の中には自営業のかたもおられ、健康診断を受診されてないかたもおられるので、指導医師による健康診断を公費で受診してもらっています。

そうして個別健康指導会出席者の健康デー



栄養士による栄養指導



栄養士による講演



女性消防団員(看護師)による健康指導

タを指導医師に回付し、医師の紙上判定を受け、その結果を本人に書面により通知しています。

#### (4) 今までの反省点と今後の課題

課題としては、健康障害ありと抽出された団員の個別健康指導会への出席率が悪いことが挙げられます。個別健康指導会に出席した団員の中にも自分が高血圧であることは分かっているが、症状がでないため放置している団員や運動することや食生活を改善することが良いことだと分かっているが、なかなか実行できない団員もおられます。

もう一つの課題として挙げられるのは、消防団員として活動するのに健康上の理由から制限があった場合、その情報を分団長やその上司に伝える方法です。個人情報保護の観点から慎重に対処すべきという議論がありました。

しかし、この個別健康指導を通して禁煙や節煙に成功した人や、食事制限、定期的な運動を行うようになった団員もおられますので、健康な生活を送るために必要な情報や病気の予防に取り組むきっかけを提供できたことも大きな成果だったと思います。

平成17年度当初より参画いただいている指導スタッフのかたや女性消防団員の献身ぶりには頭が下がる思いがあります。なかなか効果が見えにくい事業ではありますが、健康状況に合わせた効果的な介入、指導がいかに行えるか今後も更なる創意工夫が必要になってきます。

今年は、益田市消防団では消防基金事業の健康セミナーを実施し、「生活習慣病」と題して講演会を開催させていただきました。健康に対して益田市消防団全体で気運を高め、今後も地域の安心、安全を守り、地域の活性化にも一役担っていきけるような消防団を目指し団員一同がんばっていきたいと思っております。